

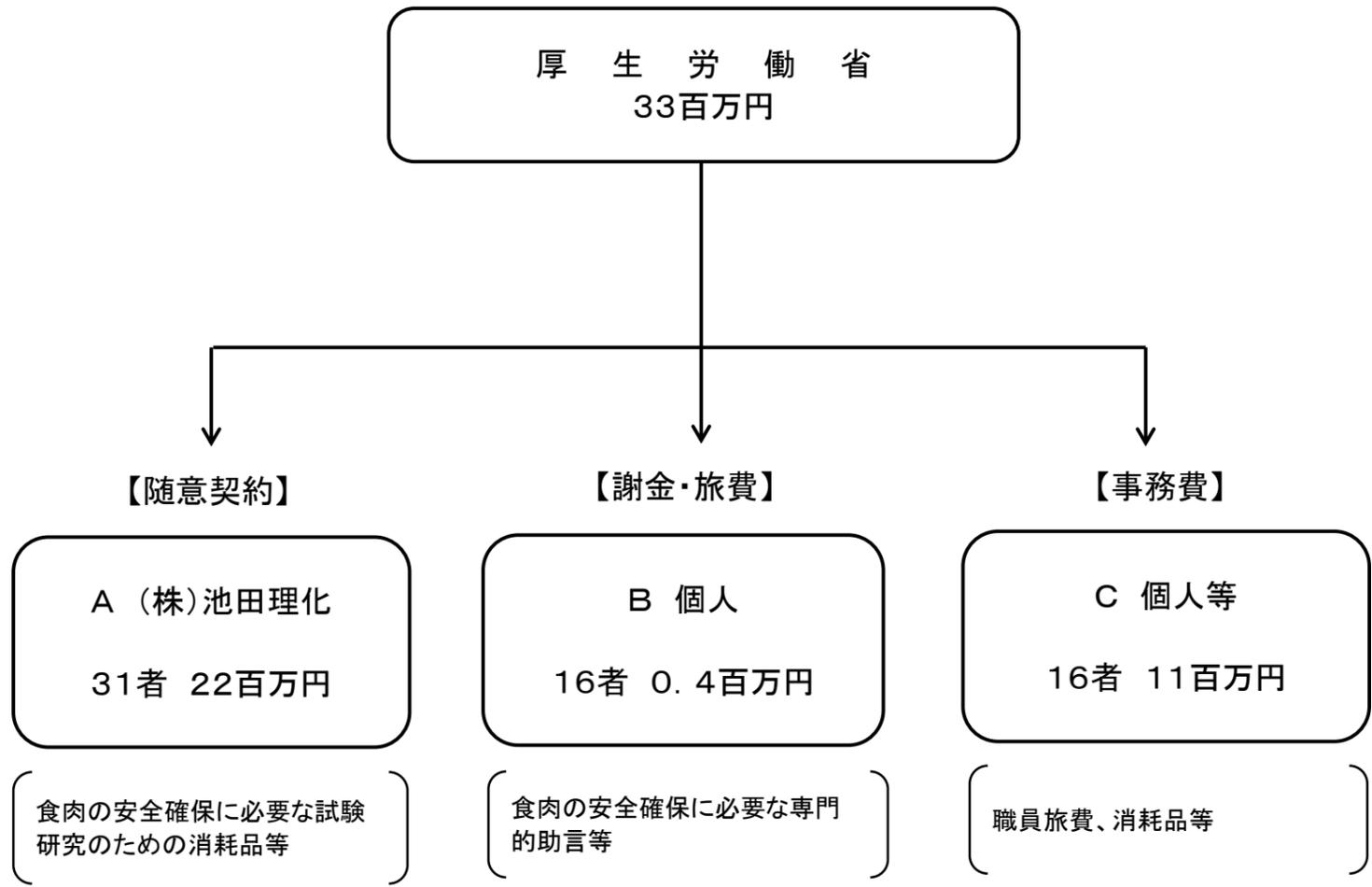
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	BSE対策など食肉の安全確保対策推進事業		担当部局庁	医薬食品局食品安全部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	監視安全課		滝本 浩司		
会計区分	一般会計		施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	食品衛生法第2条、と畜場法第2条、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律第1条の2、牛海綿状脳症対策特別措置法第3条		関係する計画、通知等	「牛海綿状脳症に関する検査の実施について」(部長通知)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	食鳥肉・食肉等の安全確保、監視指導體制を強化するため、米国、カナダからの牛肉輸入における対日輸出条件の現地査察、都道府県等が行うBSEスクリーニング検査に対する外部精度管理、都道府県等の食品衛生監視員、食鳥検査員、と畜検査員の検査技術等の向上を図るための講習会、研修会を開催し、食の安全を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	米国産及びカナダ産牛肉の対日輸出施設等に対して定期的に査察を行うとともに、BSEスクリーニング検査の外部精度管理、食品衛生監視員に対する疫学調査、監視指導等に関する講習会の実施、食鳥検査員及びと畜検査員に対する検査技術や衛生管理、疾病診断法等に関する研修会の実施							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	55	48	44	30	22	
	執行額	54	34	33				
	執行率(%)	98%	71%	74%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	21ヶ月齢以上の牛全頭のBSEスクリーニング検査数	成果実績	頭数	1,079,465	1,068,721	集計中	-	
		達成度	%	100	100	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	検査実施都道府県数	活動実績(当初見込み)	都道府県	46	46	集計中	-	
						(-)	(-)	
単位当たりコスト	553 (千円/頭)		算出根拠	平成21年度補助金額(591,221千円)/21ヶ月齢以上の牛のと畜頭数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.4	0.4	・輸入食肉処理施設に係る現地調査回数の減				
	職員旅費	11.0	9.6					
	委員等旅費	0.6	0.6					
	庁費	1.0	1.0					
	食品等試験検査費	17.4	10.3					
	計	30.5	21.8					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先に随意契約が含まれるため
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	輸出国への現地調査の回数について、過去の実績を勘案し、事業に要する経費を見直し、予算要求に反映させた。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	BSE対策など食肉の安全確保対策推進事業について、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	BSEの確認検査実績等を踏まえ、海外における現地調査の回数の見直し、国内対策における制度管理の検討に係る業務の見直しを行い、効率的な要求内容とした。 (反映額: ▲9百万円)		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)池田理化			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	HOT START MIX RTG 他	1			
雑役務費	LM付属機器(光刺激スキャナ)修理一式等	1			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	百万円を超える支出なし				
計		0	計		0
C.職員A			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	出席旅費	1			
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.随意契約

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社バイオシス	Nano Photometer Peal 1台	1		
2	高信化学株式会社	免疫～全採血(ELISA データ付)5式	1		
3	(株)太陽美術	平成22年度食品安全行政講習会資料 510部	1		
4	(株)豊島製作所	安全キャビネットHEPAフィルターの交換	1		
5	(株)池田理化	LM付属機器(光刺激スキャナ)修理一式	1		
6	(株)豊島製作所	VOYAGER-DESTR 4063 修理	1		
7	(財)星陵会	会場等借上一式(食肉衛生技術研修会)	1		
8	(株)サイマル・インターナショナル	通訳(日本語⇄英語)シンガポール政府による輸出食肉施設の査察	1		
9	(株)池田理化	HOT START MIX RTG 5箱	1		
10	(株)豊島製作所	振とう恒温槽 タイテック MM-10	0		

B.謝金・旅費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	出席旅費	0		
2	個人B	出席旅費	0		
3	個人B	出席旅費	0		
4	(株)JTB首都圏	旅費代行	0		
5	個人C	出席謝金	0		
6	個人A	出席謝金	0		
7	麴町税務署	源泉徴収	0		
8	個人D	出席旅費	0		
9	個人E	出席謝金	0		
10	個人E	出席謝金	0		

C.事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社チヨダサイエンス	パソコン(HP Pavilion Desktop PC)外5点	1		
2	職員A	出席旅費	1		
3	職員B	出席旅費	1		
4	職員C	出席旅費	1		
5	職員D	出席旅費	1		
6	職員A	出席旅費	1		
7	職員E	出席旅費	0		
8	職員D	出席旅費	0		
9	職員F	出席旅費	0		
10	職員B	出席旅費	0		